

2024 年度交換留学(派遣) 報告書 ②

所属学科／研究科	史学科
留学先国	中国
留学先協定校	天津理工大学
留学期間	約 11 ヶ月
留学時学年	2 回生
留学先での所属	言語学科
渡航日／発着便	2024 年 2 月 23 日 関空→天津
帰国日／発着便	2025 年 1 月 5 日 天津→関空
留学先で取得した単位数合計	28 単位
本学で認定された単位数合計 (※30 単位上限)	28 単位
海外留学助成金	20 万円 (前期 10 万円＋後期 10 万円)
検定試験合格者助成金	—
備考	—

留学成果レポート

■なぜ、派遣先国・派遣先大学への留学を希望しましたか？

今回自分が天津理工大学に留学先を選んだのは二つの理由があります。一つ目は中国の首都である北京に近く、中国語の勉強以外にも様々な文化が学べると思ったから、二つ目は自分が奈良大学で初めて天津理工大学への留学生だったからです。

■派遣先大学で、どのようなことを学習・研究しましたか？

自分は天津理工大学では言語学科に所属しており、主に中国語や中国の文化を学びました。僕の場合は会話に関してはある程度は話せる状態だったのですが、読み書きに関しては赤ん坊同然だったので読解や作文を書く講義を中心に受けていました。また、授業内外では留学生同士の文化交流であったり、中国古来の文化を体験するイベントには毎回参加していました。

■留学するにあたっての目標は何でしたか？ 目標は達成できましたか？

自分の一番の目的は、中国をマスターすることでした。会話だけでいても本場では通用しないと思っていたので、読み書きを本場でも通用するレベルまで上げるとともに、HSK5 級を合格するという目標を立てていました。HSK5 級という目標は無事達成することができました。漢字の読み書きも現地で生活できるレベルまでには成長することができました。

■派遣先国・大学で、どのような国際交流を行い、どのような活動をしましたか？

自分は実際のところ、中国人との関わり以上に外国の留学生との関わりの方が多かったです。例えば、ロシア キルギスタン イタリア イエメン コロンビアなどほんとに世界各国の人と仲良くなり、言語の教えあい、各国の料理を実際に作って交換、お金を交換したりなどと、学校のイベント以外でも、一緒にご飯作ったり、映画を見たりしていました。また、中国の友達には文化や食生活、歴史をたくさん学びました。

■留学中、どんな困難や苦労がありましたか？またその困難をどう乗り越えましたか？

一番の困難は留学初期の言語の壁だと思います。自分の場合は中国語が少ししゃべれる状態だったので、大丈夫だと思っていたのですが実際は何を言っているのか分からなかったり、言葉が出てこないといったことがよくありました。そこを克服するに勉強しかないと感じて、初期

のころはいろんな人に話しかけたり、辞書を使ってがむしゃらに勉強していました。

■留学前と比べて「学習面」で成長できたと思う点はなんですか？

読解能力はるかに成長できたことです。中国では簡体字を使っているの、日本の漢字とは全くの別物でした。留学初期のころは、先生に HSK2 級レベルと言われていたのが帰国前には HSK5 級を合格することができました。勉強で辞書を使うのですが、紙辞書よりスマホの辞書の方が圧倒的によかったです。また、留学生の中で中国語があまり話せない人もいたのでその人たちとは英語を使って話すしか方法がなかったの、英語の能力も上がったと思います。

■留学前と比べて「人物面」で成長できたと思う点はなんですか？

やはり自分から行動しないとダメです。日本人が中国に留学に行っても現地の人から話しかけてくることはありません。なぜなら顔が似ているから。言語習得に一番役立つのは机に向かって勉強ではなく、人としゃべることです。その意識が自分に身についたのが成長できたと感じさせてくれました。また天津理工大学の場合、寮は二人部屋なので知らない人と一緒に生活するということで、自分勝手な生活はできないので、生活態度はもちろん良くなります。

■今後、この留学経験をどう生かしていこうと考えていますか？

就活で使えるからという理由で留学に行ったわけではないが、やはり実際には大きなメリットになると思っています。ほかにもチャレンジ精神が身についたことでこの先、失敗を恐れることなく物事を進められると思います。自分の場合、大学卒業後に次は欧州に留学したいと思っているので、自分の限界を決めることなく進んでいこうと思っています。

■留学は楽しかったですか？留学して良かったですか？留学を終えての感想を

正直、自分が思っていたより何百倍も楽しかったです。思いもしなかった国の友達ができたり、日本の友達が遊びに来てくれたり、正直まだ日本に帰りたくないという気持ちまでありました。初めは一人での外国の生活は少し怖いという気持ちがあったが、いい友達ができてそんな気持ちは完全になくなりました。また機会があったら天津理工大学に行って先生や友達に会いに行きたいです。

留学アドバイス

■中国・韓国及び派遣先大学の印象は？

大学が広く、人が多い

■留学して一番困った・大変だったことは？

初期の言語の壁

■留学中の楽しかった・嬉しかったできごとは？

いろんな国の友達ができる

■留学先に持ってきて良かった・持ってくれば良かったと思ったものは？

・頭痛薬や風邪薬 必要であればカップラーメンなどの日本食
(理由) いつ風邪ひいたりするかわからないし、中国の薬が体に合うかわからないから。
中国のごはんは味が濃く、日本料理とは系統が違いでなれるまでに時間がかかるのでなれるまでは日本食があった方が安心できる。

■留学中のお金の管理はどうしていましたか？

基本的には現金は使わずに Wechatpay か Alipay を使います。中国に行つて最初にやるべきは中国の銀行カードを作ることです。Alipay の場合は日本のクレジットカードを登録してそのま

ま使えます。仕送りは親に大学の住所を伝えて国際便を使えば、送ってもらうことは可能です。

■派遣先大学での生活環境はどうでしたか？

寮は二人部屋で留学生同士ですがルームメイトはランダムです。食生活は、基本的には食堂で食べますが、寮にはキッチンもついているので、自分で器具や食料を買って調理することはできます。

■派遣先大学での課外活動はどんなものがありましたか？

特になし。ただ大学内のバスケット無料で使えて、テニス、バドミントンなどは予約をしてお金を払って使えます。ジムもあります。

■どのような国籍の留学生がいましたか？

キルギスタン ロシア イエメン イタリア コロンビア ペルー ラオス ギニア トルクメニスタン タジキスタン マレーシア ベトナム
日本人は僕だけでした。

■渡航前にすべきこと・やっておいたほうが良いことは？

その国の言語を少しは学んでおく。ゼロかイチだと全然違います。その都市のことを調べておく。その方が身動きとりやすいです。

■渡航後にすべきこと・やっておいたほうが良いことは？

クレジットカードを作る。いろんなひとに話しかける。天津理工大学の場合、留学生は現地の生徒と別の寮なので、そこで友達を作っておいたら、生活が楽になります。

■今後の派遣留学生にむけてアドバイスを

留学生や中国人のほとんどの人は優しいので怖がらなくて大丈夫です。ただ、タクシーの中や外に遊びに行くときはあまり自分が日本人であることは言わない方がいいです、なぜなら反日の人々はやはり少なからずまだいるからです。
寮の二人部屋も最初はなれないかもしれませんが二日三日もすると勝手に仲良くなります。自分もそうでした。

勉強に関しては紙の辞書はやめましょう。勉強する気がなくなります。スマホのアプリで手書き辞書があるのでそれを使った方がいいです。とても便利です。

最後に同国の友達が欲しいとは思いますが、なるべく作らない方がいいです。なぜなら、日本語をしゃべってしまうからです。留学生はほとんどみんな中国語がしゃべれます。そのため中国語でしゃべれる機会を無駄にしないようにしましょう。また英語もほとんどの人がしゃべれるので英語の勉強もできます。